『まち・ひと・しごと創生総合戦略』 将来のまち 高校生アンケート調査結果 (概要)

1.調査の概要

1.1 調査の目的

新たな『まち・ひと・しごと創生総合戦略』の策定にあたって、将来を担う高校生が、将来、 どのような地域で生活したいと考えているか、結婚や出産についてどのように考えているか等 を中心に意向を把握することを目的とする。

1.2 調査の概要

調査対象:県立守谷高等学校の在校生(674人)

調査方法:学校での配布回収方式

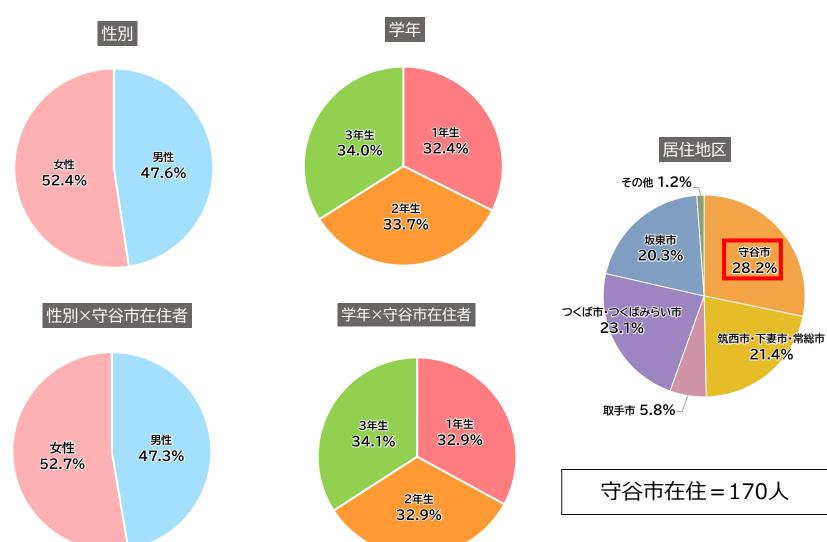
調査時期:令和3年1月

調査内容:現在のお住まいの状況や生活行動場所、将来住みたいまち、結婚観・子どもについ

ての希望、就職等の希望、守谷市が目指すべき姿など

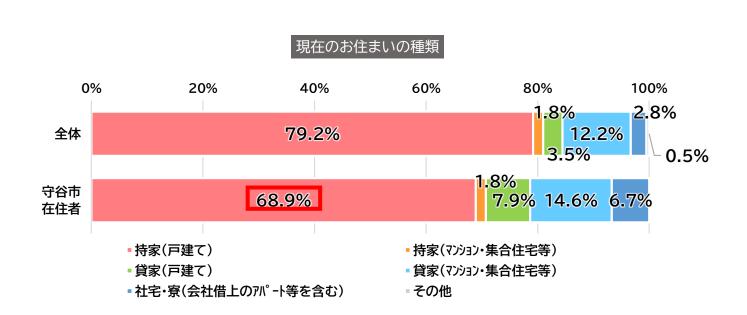
回答者数:626票(回答率92.9%) ※守谷市在住170票

2.1 回答者の属性

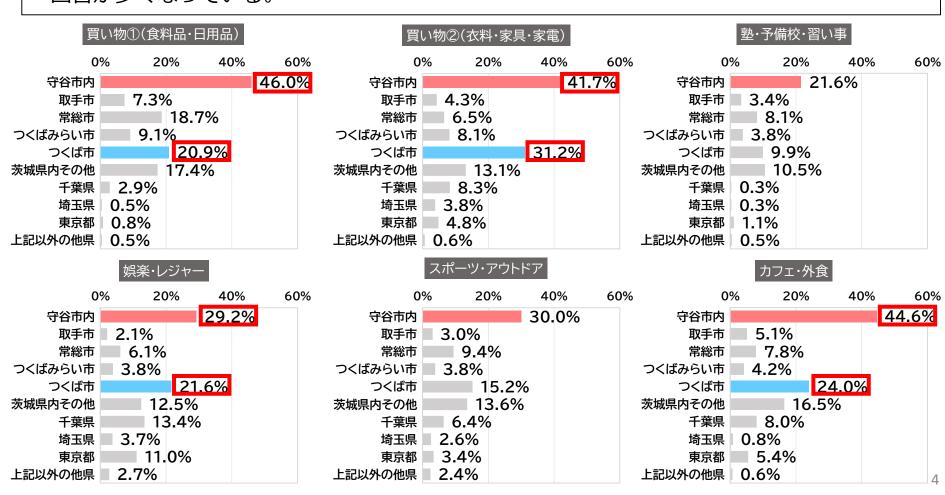


2.2 現在のお住まいの状況や生活行動場所等

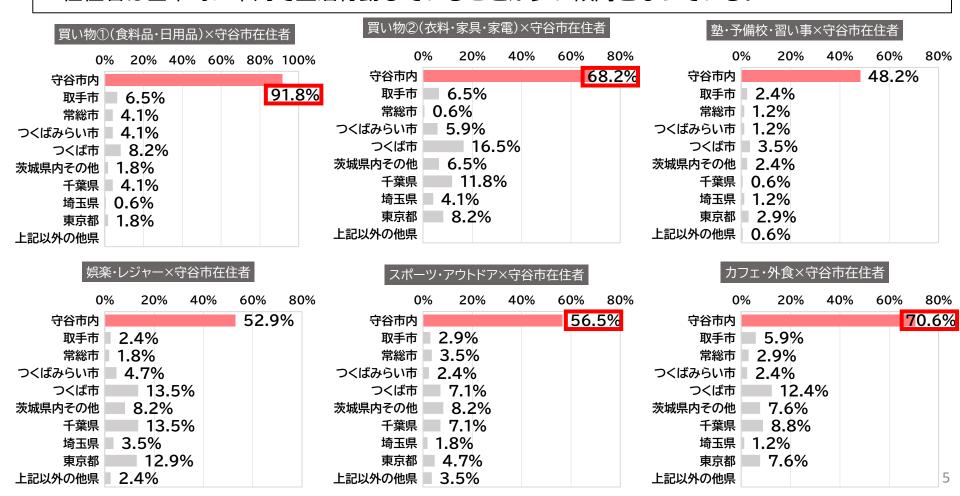
- (1) 現在のお住いの種類
 - ・守谷市在住者の約7割が「持家(戸建)」と回答している。



- 2.2 現在のお住まいの状況や生活行動場所等
 - (2) 生活行動においてよく行く場所(複数回答・それぞれ2つまで)
 - ・「買い物」「娯楽・レジャー」「カフェ・外出」では、「守谷市内」「つくば市」の順で回答が多くなっている。

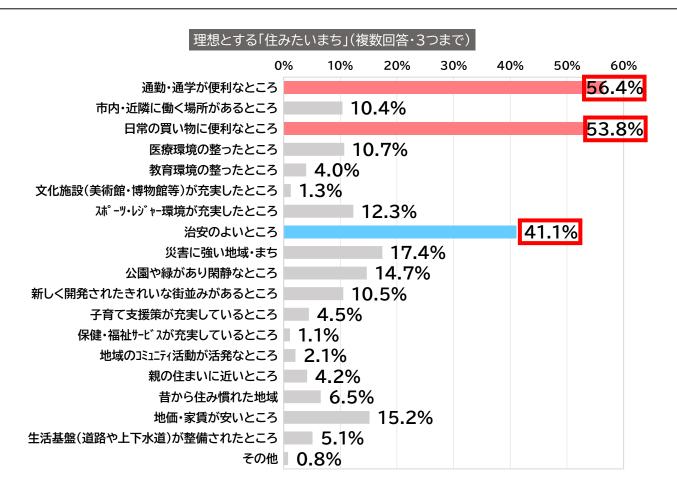


- 2.2 現在のお住まいの状況や生活行動場所等
 - (3) 守谷市在住者が生活行動においてよく行く場所(複数回答・それぞれ2つまで)
 - ・**守谷市内での「買い物」「カフェ・外出」「スポーツ・アウトドア」の割合が高く、**守谷市 在住者は基本的に市内で生活行動していることが多い傾向となっている。



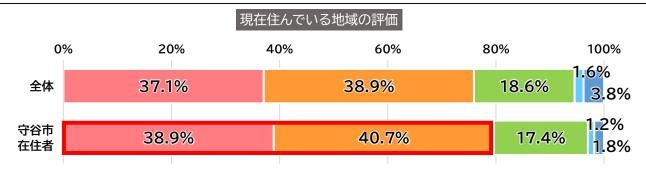
2.3 将来住みたいまち

- (1) 理想とする「住みたいまち」
 - ・理想とする住みたいまちは、**5割以上が「通勤・通学が便利なところ」「日常の買い物に便 利なところ」、約4割が「治安のよいところ」**と回答している。

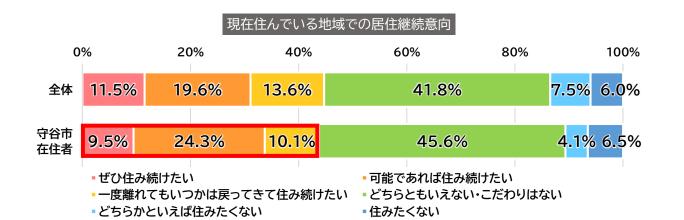


2.3 将来住みたいまち

- (2) 現在住んでいる地域の評価と居住継続意向
 - ・守谷市在住者の現在住んでいる地域の評価では、**約8割が「好き」「どちらかといえば好き」と回答**している。
 - ・現在住んでいる地域での居住継続意向は、**4割以上が「住み続けたい」「一度離れてもいつ かは戻って住み続けたい」**と回答している。

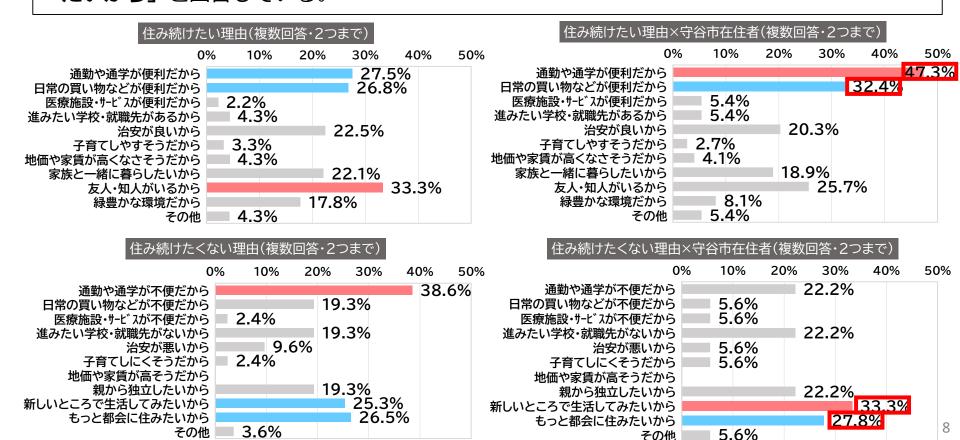


●好き ■どちらかといえば好き ■どちらともいえない ■どちらかといえば好きではない ■好きではない



2.3 将来住みたいまち

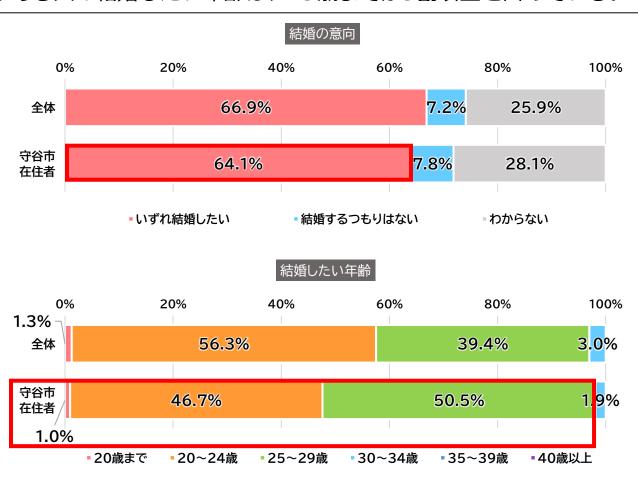
- (3) 住み続けたい・住み続けたくない理由
 - ・守谷市在住者の住み続けたい理由は、「**通勤や通学が便利なまちだから」「日常の買い物** などが便利だから」の順で回答が多くなっている。
 - 一方で住み続けたくない理由は、「新しいところで生活してみたい」「もっと都会に住み たいから」と回答している。



2.4 結婚観・子どもについての希望

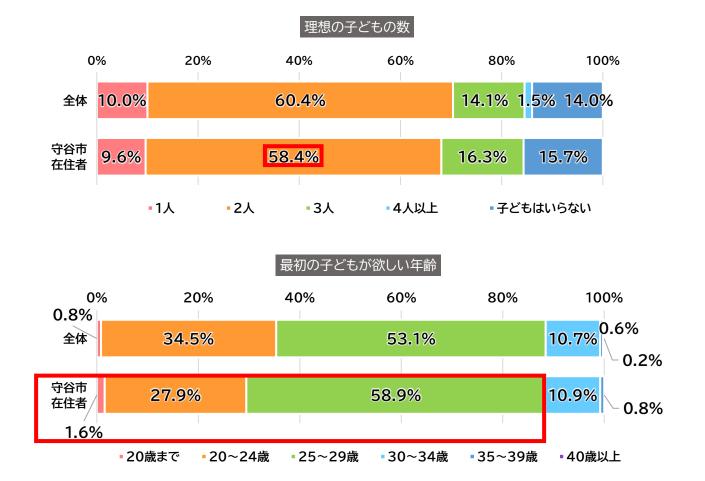
(1) 結婚の意向

- ・結婚の意向では、**6割以上が「いずれ結婚したい」**と回答している。
- ・結婚意向がある人の結婚したい年齢は、29歳までが9割以上を占めている。



2.4 結婚観・子どもについての希望

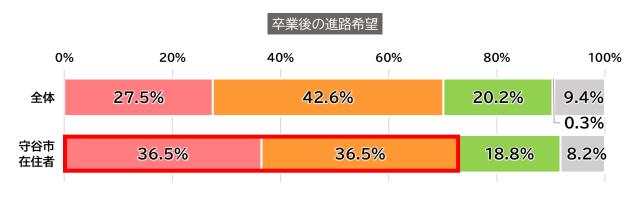
- (2) 理想の子どもの数と最初の子どもが欲しい年齢
 - ・理想の子どもの数では、**約6割が「2人」**と回答している。
 - ・最初の子どもが欲しい年齢は、29歳までが8割以上を占めている。



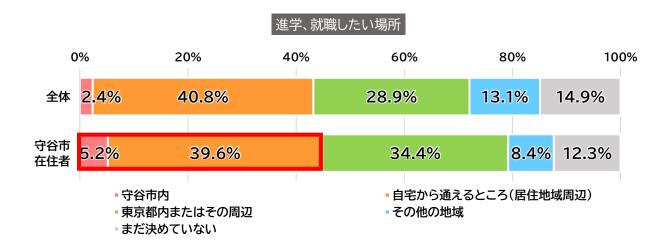
2.5 就職等の希望

(1) 卒業後の進路希望と場所

- ・卒業後の進路希望では、**約7割以上が「進学したい」**と回答している。
- ・進学就職したい場所は、4割以上が「守谷市内」「自宅から通えるところ」と回答している。



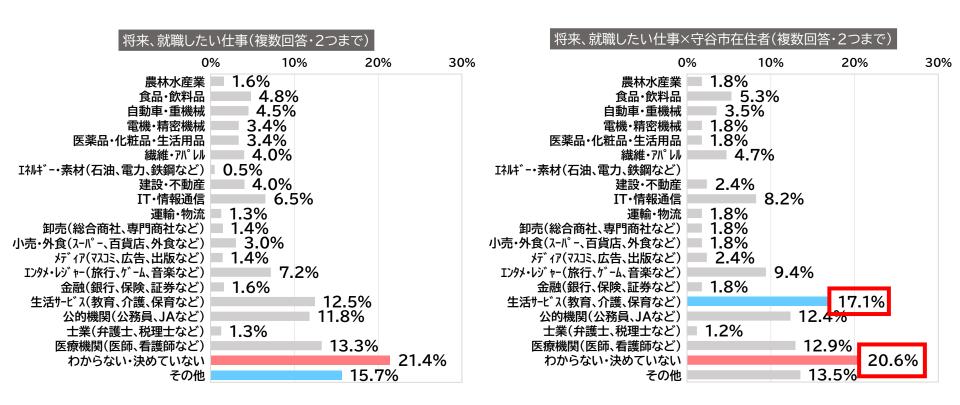
■進学したい(大学・短大) ■進学したい(専門学校) ■就職したい ■その他 ■まだ決めていない



2.5 就職等の希望

(2) 将来の希望の仕事(業種)

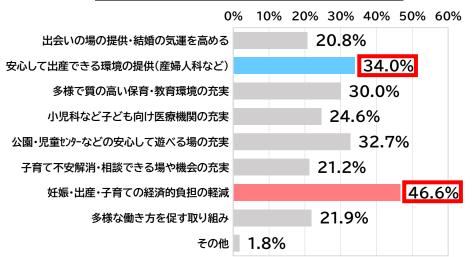
・守谷市在住者の将来の希望の仕事は、「わからない・決めていない」「生活サービス(教育、介護、保険など)」と回答されている。



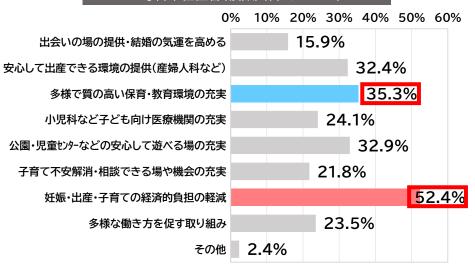
2.6 守谷市が目指すべき姿

- (1) 人口を増やす(維持する)ために重視すべき取り組み
 - ・人口を増やす(維持する)ために重視すべき取り組みでは、守谷市在住者は**5割以上が「妊娠・出産・子育ての経済的負担の軽減」、3割以上が「多様で質の高い保育・教育環境の充実」**と回答している。

人口を増やす(維持する)ために重視すべき取り組み (複数回答・3つまで)



人口を増やす(維持する)ために重視すべき取り組み ※守谷市在住者(複数回答・3つまで)



2.6 守谷市が目指すべき姿

(2) 今後目指すべきまちづくりの方向性

・今後目指すべきまちづくりの方向性では、「良好な生活環境の整備による勤労世代の転入増で人口の維持・増加を目指す」、「自然と調和した住環境整備により多様な世代の転入促進で人口の維持・増加を目指す」の順で回答が多くなっている。

